

北海道は温泉がたくさん 説明できる区分と特徴

そして温泉地域も知る



登別に
しているのは硫黄線だから
ます》

ある「天然温泉川の足湯」白濁
《ドライバーガイドが案内し

Jエコツアー(株)
北海道ガイドテキスト

温泉のノウハウ

温泉の泉質は、含まれている成分の種類とその含有量によって決められ、「**単純温泉**」「**塩化物泉(旧食塩泉)**」「**炭酸水素塩泉(旧重曹泉)**」「**硫酸塩泉**」「**二酸化炭素泉**」「**含よう素泉**」「**含鉄泉**」「**酸性泉**」「**硫黄泉**」「**放射能泉**」の10種に分類されています。

「食塩泉」「重曹泉」というと、何となくどんな泉質なのかわかりますね。

これは温泉の旧分類名なのです。

現在は、「**ナトリウムー塩化物泉**」とか「**ナトリウムー炭酸水素塩泉**」といったようにイオン名の組み合わせなので、昔よりわかりにくく感じられるようです。ちなみに草津温泉の泉質名は、「**酸性・含硫黄ーアルミニウムー硫酸塩・塩化物温泉**」と大変長いのです。

温泉の泉質は、このようなイオン名の組み合わせや特殊成分により数十種類もあります。

それをすべて覚えるのは大変なのですが、実際には 10 泉に大別されているので、まずは 10 だけ泉質名を覚えればよいのです。

10 の泉質とは、「単純温泉」「塩化物泉」「炭酸水素塩泉」「硫酸塩泉」「二酸化炭素泉」「含よう素泉」「含鉄泉」「硫黄泉」「酸性泉」「放射能泉」です。

先に例として出した「ナトリウム－塩化物泉」(旧食塩泉)は「塩化物泉」としての効能(適応症)があると思ってください。

「ナトリウム－炭酸水素塩泉」(重曹泉)は「炭酸水素塩泉」としての効能があると思ってください。

また、草津温泉の「酸性・含硫黄－アルミニウム－硫酸塩・塩化物温泉」は、「酸性泉」「硫黄泉」「硫酸塩泉」「塩化物泉」の4つの泉質の効能があるということになります。

泉質名の「カタカナ」を省いて 10 の泉質名にあてはめると覚えるとわかりやすいです。

「ナトリウム・カルシウム－塩化物・炭酸水素塩泉」なら「塩化物泉」と「炭酸水素塩泉」といった具合です。ところで、一般的に「温泉の効能」という言葉をつかいますが、本当は「適応症」と言わなければなりません。

薬と異なり、温泉の効果は科学的に認められたものでなく、経験的にそのような症状に対応してきたというのが、一般的に「効能」として紹介されるものなのです。

本当はあくまで「適応症」なのです。

温泉の薬理効果は科学的データによるものでなく法律によるものと考えてもいいのです。

こう考えると、「なんだ、効能はないのか！」と思う方もいるかもしれませんが、未知でファジーな部分がある温泉だからこそ、色々な症状が改善されることに期待ができるのです。

温泉分析書に記載されている「適応症」を信じて入浴したり、自分の持つ症状に効くと思ったりして入浴してください。

温泉の未知なる無限のパワーとそれを利用する人の信じる力が、エネルギーを与えてくれるのです！

なお、この本では「適応症」と表現すべきところを、一般的に使われていることから理解しやすいように「効能」と表現をする箇所が多くあることをご了承ください。

10種類ある泉質の中で、炭酸水素塩泉、硫酸塩泉、硫黄泉は【3大美肌泉質】と呼ばれています。

その3大美肌泉を北海道で見ると

- ・北海道で1つしかない二酸化炭酸泉が楽しめる「五味温泉」
- ・硫黄塩泉も貴重なお湯 旭岳温泉 湯元 湧駒荘
- ・硫黄線は多くあり、登別温泉・七色温泉・層雲峡温泉・羅臼温泉・川湯温泉・温根湯温泉である。他、別格で「モール温泉」の十勝川温泉がある

効能を一言でいうと・・・お客様はイメージがわきます

- ①単純温泉 → 「家族の湯」 → 高齢者、子供にもやさしい湯
- ②アルカリ性単純温泉(単純温泉) → 「美肌の湯」
- ③塩化物泉(食塩泉)「温まりの湯」 → 湯冷めしにくい・「傷の湯」→塩分の殺菌効果